広報伊方町

発行所
愛媛県西宇和郡
伊方町
編集
町長公室
印刷所
尾上印刷所
八幡浜市天神通
電話 ㊀0091番

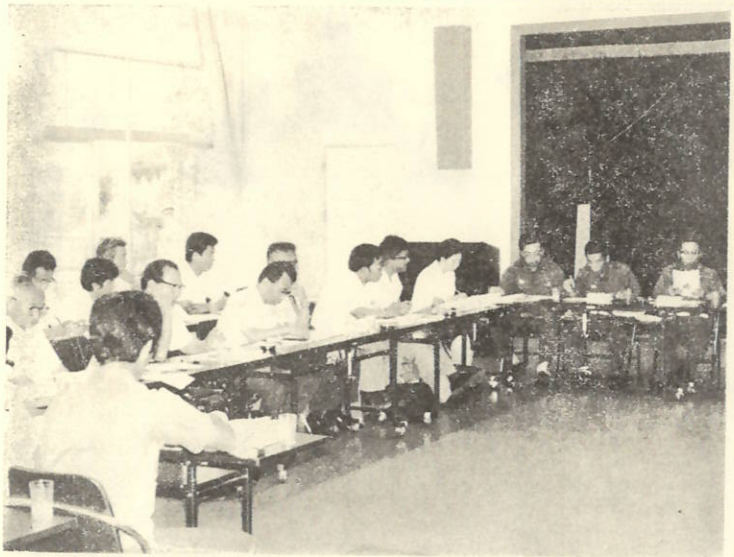
青少年の非行化防止

やっていますか 親子の会話

最近の少年非行は全国的に増加しており、その内容も悪質化、多様化の傾向にあり、青少年を取りまく社会環境の中で、学校、社会、家庭を問わず、さまざまな問題を投げかけています。

町では、七月十六日町見公民館で青少年補導会連絡協議会を開催し、地区補導員、小中高校関係者、警察、各種団体から四十六名が出席、小中高校生の校外生活のきまりを町内全戸配布することや、夏休み中の補導計画などが話し合われました。

とかく開放的になりがちな夏休みですが、あらかじめ計画を立て、規則正しい生活をすることによって、学習意欲を増し、心身共に健康で楽しい夏休みを過したいものです。集団生活からの解放、暑さからくる気のゆるみなどからくるトラブルは、ともすれば不規則な生活になりやすく、学習意欲をなくしたり、非行や思わぬ事故を起こしやすいものです。



青少年補導会連絡協議会開く

この近年青少年の非行は、相変らず増加の一途をたどっており、昨年は過去10年間で最悪の記録でした。その背景には、青少年をとり巻く社会環境の悪化、享楽的風潮の増大などさまざまな問題が考えられます。青少年の非行化を防ぐポイントは、やはり健全な社会環境、家庭環境づくりが、何よりも大切なのではないでしょうか！

「うちの子に限って……」と自信をお持ちでしょうが、この機会にあらためて、家庭でのコミュニケーションについて考えてみてはいかがでしょうか。

家庭における非行防止の五つのポイント

一、子供を放任しない――子供を育てる責任の自覚を……

二、親子の対話を忘れないように――子供への理解を……

三、子供に悪戯のけじめをつけさせる事を忘れないように――生活の基本マナーを……

四、二つ叱ったら、三つほめる心がけを忘れないように――いつもはげましと暖かさを……

五、ポルノ雑誌などを家庭に持ち込まないように――若いエネルギーを正しい方向に……

お父さん、お母さん、あなたが真剣に働く姿そのものが無言のうちに、子供を教育しています。

あなたの、言動のすべてが、いつのまにか子供を感化していきます。時には自らをチェックすることも忘れないでください。

海水浴場やプールでは、毎日子供たちが、元気よく水しぶきをあげています。

真黒に日焼けした、元気な身体で二学期を迎えましょう。

母と子の会話

ほめる

口先だけでは逆効果

「叱るより、ほめよ」とよくいいますが、確かにその通りでほめられると子供はうれしいものです。ここに、しつけの大切なポイントがあります。

しかし、ほめ上手な母親になることは、なかなかむずかしいようです。母と子のコミュニケーションを考える上で上手なほめ方とは、どんなほめ方をいうのでしょうか。

まず大事なことは、子供がよいことをしたり、何かを成しとげたりしたときは、その時その場でほめてやることです。時間がたつてからでは、せっかくのほめ言葉も効果は半減します。

子供は、自分の行動なり言動の正しさを認められたことに喜びを感じ、さらにやる気を出すようになるでしょう。

といっても、ほめすぎるのも感心しません。「えらいわね、さすがお母さんの子ね」などと、口ぐせのようにいっているお母さんがいますが、子供にしてみれば"耳だこ"になったほめ言葉からは何の感動も受けないでしょう。

同じほめるのなら、誠実な態度で心の底からほめてやってください。どの程度ほめてくれているのか――子供は敏感に親の気持ちを感じとっています。

子供は、いつも親から愛されたい、認められたいと、無意識のうちにもそう願っています。

子供ならだれしも、よい子になりたいと思っているのです。

親と子の心が通い合うほめ方――ほめ言葉は親と子の大切な"会話"の一つです。

安っぽいほめ方は、つつしみたいものです。

◇　◇

海も川も生きものです。

「生きた海」にするのも「死の海」にするのも、すべて人間のなす業、美しい昔の海を、一日も早く取りもどしたいものです。

クリーン作戦にひと役

商工会青年部 室ノ鼻を清掃

七月十五日、商工会青年部（佐竹英信部長）のメンバー、三十人が室の鼻海水浴場の清掃作業に汗を流しました。（写真）

青年部では、夏休みを前に多くのみなさんに、少しでもきれいな海水浴場をと、一日清掃奉仕をかってでたものです。

当日は早朝から、周辺の草刈り、海岸に打ち寄せられたゴミ類を、ブルトーザー二台が出動して、取り除いたり、焼却を行ない、夕方にはきれいな海水浴場になりました。

この室の鼻海水浴場は、夏休み中には、町内外から、多くの海水浴客でにぎわっていますが、心ない少数の人のために、夏の終り頃になると、たくさんのゴミなどが、あちらこちらに放置されています。

ゴミなどは、美観をそこなうばかりでなく、ケガや事故の原因ともなります。あとから来る人達のためにも、ゴミは放置しないで、決められた場所へ捨てるか、持ち帰るよう心がけ、みんなできれいな海、きれいな町にしましょう。

商工会青年部のみなさん、大変ご苦労さまでした。

省エネルギー

電気＝ムダなく上手に使おう

電気は照明、電気製品をはじめ工場の動力など用途が広く、そのうえ、クリーンで安全なエネルギーであることから、生活水準の向上、産業の発展とともに使用量は毎年大きな伸びを示しています。

ところで、この電気の約七割は石油を燃料とする火力発電によるものです。しかし、わが国の石油はほぼ全量を海外に依存しており、増加する電力需要をまかなうだけの石油を確保していくことは、年々むずかしくなってきています。

このままでは、今までのように必要なだけ電気を確保することはむずかしくなるかもしれません。

しかし、電気は節約することできます。電気を上手に、効率的に使うことによって、わたしたちは快適で便利な暮らしを送ることができるのです。

一年中で最も多く電気を使うのは八月で、その三分の一はクーラーの使用によるものです。

一日のうちでは、気温が高くなる午後二時前後でクーラーがフル回転する時刻です。これに高校野球のテレビ観戦が重なると、電力消費はピークに達します。

クーラーの涼風の中で野球を楽しむ――その一方で、わが国の発電所は"パンク寸前"に追い込まれることになるのです。

ことしは、石油消費量の五％節約という国際的な取り決めに従って、冷房温度を摂氏二十八度程度とするよう、国をあげて努力しています。わたしたちもできるだけ協力したいものです。

山本前町長 県人事委員に

山本長松前町長が愛媛県人事委員会委員に選任されました。

この人事委員会は、地方公務員法の完全な実施を確保し、その目的を達成するため設置されているものです。

地方公務員の人事行政全般に関する事項の調査研究、あるいは職員に対する不利益な処分についての不服申立てに対する裁決または決定するなどの仕事があります。

任期は四年間です。

去る七月に開催された県議会で議決され、委員三人のうちの一人に選ばれたものです。

伊方郵便局長に田辺氏

伊方郵便局長の上野進氏（河内）が勇退されたのにともない、後任に田辺新一郎氏（河内）が就任されました。（写真）

田辺氏は、同郵便局に勤務すること三十九年。まさに生え抜きの郵政マンです。

こんご豊富な体験をもとに、局の円滑な運営と郵便業務に対する地域住民へのサービス向上のため尽力されます。

また、今回勇退されました上野進前局長は、昭和五年から四十九年間勤続され、その間郵便局長を約十年務められ郵政業務発展のために貢献されました。

歳時記

「近ごろは、ネオンや車のライトのせいで夜空が明るいため、花火も見栄えがしない」――とある花火師が嘆いていました。

とはいうものの、やはり花火は"夏の風物詩"として欠かせないものの一つです。

しばらく"鳴り"をひそめていた各地の名物花火大会が、この一、二年続々復活のきざしを見せてきているのも、そのためでしょう。

その復活ブームの口火を切ったのが、東京は隅田川の花火大会で、実に十六年ぶり。

ところで、打ち上げ花火の花形は、なんといっても尺玉と呼ばれる直径三十センチもの。人口過密な都市部では"保安距離"の関係から小さいものしか打ち上げられませんが、地域によっては尺玉はいうに及ばず、新潟県長岡の信濃川など"三尺玉"と称する超特大のものが、夜空を彩っています。

一方、おもちゃの花火はというと、かつての"代表格"ともいえる線香花火は、おとなしすぎるということから、子供にはいま一つ人気がないようです。その上、値段の割には作るのに手間がかかるとあって、最近ではあまりパッとしません。いま、子供たちに受けているのは、飛んだり、回転したり、すさまじい爆発音を出したりする、動きのあるもので、そのほとんどが中国産です。

ところで、花火による火災が毎年、全国で二百件を超えています。

たかが、おもちゃの花火とタカをくくるのは危険です。

風い強い日は避けるほか、注意書きをよく読み、水のはいったバケツなどを用意して万一に備え、また大人が必ず立ち会うなど、取り扱いには十分注意しましょう。

カッパ天国!!

楽しい夏すごしています

きようも元気よく水しぶきをあげるカッパ達

海やプールは、子どもたちの天国です。水泳はからだをきたえるために大切ですが決してむりをしてはいけません。

ひと泳ぎして後はゆっくり手足を伸ばし休むことを励行してください。

泳いだ後のからだの手入れもおろそかなく。

まず目を清水でよく洗いましょう。洗面器に清水をたっぷりとくみ、その中へ顔をつけ、目を開いたり閉じたりした後で目薬を。

耳の中に入った水は、なかなか取りにくいもの、水の入った耳を下にして片足立ちでトントン地面をはねると出るといいますが、綿棒を入れ吸いこませるのが効果的です。

ティッシュペーパーでかんしょりを作り、先端をちょっとぬらしてしぼり、耳の中に入れます。ちょっとぬらしてしぼるところがみそで、こうすると水をよく吸いやすくなります。

紙をよったものですから、耳の穴にふれても痛くなく、水のある所に届くと、音をたてて紙に吸い込まれるようすがよくわかります。

みんなで事故のない楽しい夏休みを過ごしてください。

根来君全国大会へ

八百メートル(陸上)で県優勝

賞状を手に喜びの根来君

町見中学校の根来浩樹君(西)が、七月二十二日愛大山越陸上競技場で開催された全国中学通信陸上競技選手権大会八百メートルで見事優勝いたしました。

記録は二分四秒五。この記録は全国大会出場の標準記録を突破する立派な成績です。

同君は八月二十六日、二十七日の二日間東京の調布競技場で行われます全日本中学校陸上競技選手権大会に出場します。

なお、同君は四百メートルにも出場し五十三秒七の大会新記録でしたが惜しくも二位でした。

また、三千メートルに出場した武内智治君(久保)も十分十五秒六の記録をたしましたが、これも第二位。

ことに両君の健闘をたたえますとともに、根来君の全国大会での好成績を期待するものです。

町民の皆さんのご声援をお願いします。

がんばれ!根来君。

この人 この趣味

編2

「像」づくり十年

兵頭寛一さん(川永田)

川永田大師堂へ奉納の「不動明王」と兵頭さん

「この人、この趣味」の二人目は、川永田の兵頭寛一さん(五十一歳)を紹介します。

兵頭さんは「像」づくりを手がけられて十年になります。

ことのはじまりは、昭和四十二年十一月当時小学校四年生の長女を交通事故でとくしたため、何としても、この悲劇を二度と再び繰りかえしてはならないと思い、「交通安全の像」をつくったのがはじまりとのこと。

この像は、昭和四十四年に川永田地区の方々の協力によって海岸の国道端に女の子の像(交通安全像)を建立されています。

つづいて昭和五十年九月二十日伊予市交通安全協会の依頼をうけて、同市大平に同じく女の子の交通安全像を建立。

昭和五十一年九月三日善福寺八幡神社境内の手洗い場に昇龍を奉納。

昭和五十二年八月二十八日川永田大師堂へ不動明王像を奉納。

昭和五十三年九月三日川永田八尺神社へ八尺龍を奉納。

昭和五十四年六月三日金山出石寺へ弘法大師像を奉納。

こうしたもののほか、自宅玄関には、鶴と亀の像をつくられております。

近所の子供たちからは、ツルとカメのいる家として親しまれています。また、眼などの絵も描かれて奉納されるなど特殊の持主です。

いろいろな像をつくる場合、まず鉄筋で骨組みを行い、そのあとコンクリートを少しづつ練り込み最後にモルタルで仕上げられます。

ひと口にモルタル仕上げと申しますが、一つの像をつくるのに仕事の合間を見て製作にあたるため長期のもので五~六カ月の日数を要するとのことです。

どの像もその出来ばえは玄人はだしで"見事"の一言につきます。

像づくりにあたって兵頭さんは「私の作品をそれぞれの場所へ奉納させていただき深く感謝しています。これも一つの社会奉仕と思って。現在、体を少し悪くしていますが、回復しだいまた頑張りもりです。」とのこと。

お話をお聞きしているうち横には、二宮金次郎像の骨組みができあがっていましたが、一日も早く病気が良くなられますことを、心から祈念申し上げます。

係から

町内二人目の"この人この趣味"者を紹介しましたが、皆さんの身近なところでこうした人たちが、多くおられることと思います。

この一報いただきますと取材にうかがいます。

係(町長公室)では、みなさんからの連絡を持っていますのでよろしく!

こんなときは

検察審査会へ

交通事故で被害を受けたのに、加害者は処罰されなかった。

つまり警察、検察庁で調べをしたが、不起訴処分になってしまった。

どうしてもなっとくできない。

でも、これをだれにどうしてもらったらよいか判らない。

こんなときどう

したらよいでしょうか。

そうしたときは、検察審査会へご相談ください。

交通事故だけでなく、詐欺とか窃盗、おどしなどすべての犯罪についても同じです。

費用はいっさいいらず、秘密は固く守られます。

私たちの地方には、大洲検察審査会があります。

住所と電話番号は、つぎのとおりです。遠慮なく相談しましょう

大洲市大洲八四五

松山地方裁判所大洲支部内

電話〇八九三二

四二〇三八

ながら俳句会

潤れそぼつ雨の重たき農薬開花　四内ふじよ(松山市)

霧雨に泰山木の花浮かぶ　岩見あい子(愛)

出水後の植田に鯉の群れ泳ぐ　渡辺なみえ(愛)

なんとなく豆かしいて梅雨ごもり　松田長陸(久保)

レモン酒に日付を記るし密閉す　城間ちづる(愛)

梅雨空に廃車解体の金属音　山口あい子(畑)

山の香の山帰来蛍や農休み　城間さかえ(愛)

泥靴の非び飯場の梅雨ごもり　菊池あつ子(愛)

身体障害者相談員に

樫尾さん(田之浦)

町内には、身体障害者福祉法の規定によって、県の委託を受けて身体に障害のある方の更生、援護に関する相談と必要な指導、関係機関の業務に協力するなどのお世話していただく相談員さんがおられます。

委託を受けた期間は、昭和五十四年四月二日から五十六年三月三十一日までの、二年間です。

お気軽にご相談ください。

相談、指導は無料です。

樫尾寛二氏(田之浦)=商業=

電話九一〇一六五 九一〇九五〇

表彰

本町の人権擁護委員として活躍されている小川文一郎氏(湊浦)と山口勇氏(二見)が、全国人権擁護委員連合会長から表彰されました。

両氏は永年にわたり人権擁護委員の要職にあって、住民の福祉向上と人権尊重の指導にあたられ、その功績が多大であったことに対し表彰されたものです。

町議会議長の要職にある尾崎洋一氏(小中浦)が、愛媛県防犯協会長から表彰されました。

同氏も永年にわたり町議員として、青少年の健全育成指導に貢献されたことにより表彰されたものです。

(善)(意)(箱)

伊方町赤十字奉仕団(小川冊子委員長)が、ゾウキン二百枚を町の教育委員会へ寄贈されました。

これは、会員(現在六十三人)が、美しい学校環境づくりに使ってほしいと贈ったものです。

教育委員会では、町内の小中学校へ児童、生徒数に応じ分配しました。

子どもたちも、この善意に対しさっと感謝していることでしょう。

ありがとうございました。

＝お礼＝

アメリカ・カルフォルニア州にお住いで、建築資材販売店を手広く経営されている菊池安男氏(中之浜出身)より三万円、広報編集費用にとご寄附いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ご健康でますますのご繁盛とご活躍をお祈り申し上げます。

人

昭和54年6月末現在
世帯数2,562戸(+7戸)

人口 8,955人(+3人) {男4,289人(−1人) 女4,666人(+4人)}

えんむすび

昭和54年6月1日
6月30日

お誕生おめでとう よい子に育ってください

昭和54年6月1日
6月30日

おくやみ

昭和54年6月1日
6月30日